

# 『中学校社会科地図』の特色一覧

## ② 検討の観点から見た内容の特色

観点	観点の内容	本書の特色 ※ (青字) は教科書のページ
と 教 育 基 本 法 の 対 応	教育基本法との対応が十分にはかかれているか。	○教育基本法第1条の目標および教育基本法第2条第1～5号に示された内容について、 <b>社会科の目標や学習内容に沿った指導を効果的に行うことができる</b> ように構成されている。(詳細は本資料p.45-46「教育基本法との対応」を参照)。
学 習 の 指 導 要 領 に 対 応	学習指導要領の目標・内容の趣旨に沿ったものであるか。	○基本的に地理的分野の学習指導要領の目標・内容に沿っており、かつ <b>歴史的分野・公民的分野の学習でも活用できる</b> 内容となっている。(詳細は本資料p.50「学習指導要領の項目に沿った編集上の特色」を参照)
内 容 の 配 列 ・ 分 量 ・ 程 度	全体の分量は、年間標準時数から見て適切か。各単元の配当時数は適切か、系統性が考慮されているか。	○地理的分野の学習にあわせて、世界は州別に、日本は地方ごとに構成されている。 <b>資料は、地域の特色が適切に理解できる題材が選定</b> されている。また、表現も平面の地図表現に加え、 <b>鳥瞰表現が多用され、内容が焦点化</b> されて理解しやすくなっている。(p.25-28など) ○世界の各州の特色を具体的に読み取れるように、原則として「一般図」→「鳥瞰図(ながめてみよう)」→「資料図」という配列で構成されている。日本の地方は、原則として「一般図(地方別地図)」→「一般図(拡大図)」→「資料図」という配列で構成されている。(p.23-28,83-88など) ○世界の一般図は世界全州、日本の一般図は日本の全地方を網羅し、各州・各地方の特色を具体的に読み取れる資料が掲載されている。
	内容の程度・範囲および文章は、生徒の発達段階から見て適切か。	○地図中の <b>地名の漢字には、すべてふりがなが付され、正しく読める</b> よう配慮されている。 ○学習上重要な「国名」「首都名」には欧文が併記され、 <b>国際化・英語科への対応</b> ができている。 ○「国名」や「首都名」、「都道府県名」や「都道府県庁所在地」など、学習上重要な地名は大きく太い文字で記載され、他の地名よりも目立つように配慮されている。 ○日本の一般図の記載要素のうち、産物や環境に関するものは絵記号が用いられ、読み取りやすく表されている。(p.83-84など)
	学習を効果的かつ効率的に進めるための工夫がなされているか。	○世界の各州には、自然環境や生活・文化、産業などの <b>イラストを配した鳥瞰図(全6か所)</b> があり、 <b>地域の特色が視覚的に捉えられ、大観</b> できるように工夫がなされている。(p.25-26など) ○日本の一般図(地方別地図)は、九州、中国、四国、近畿、中部、関東、東北、北海道の八地方に区分され、各地方のようすが読み取れる。また、100万分の1の縮尺で統一されている。 ○ <b>大判化(A4判)の利点</b> を生かし、 <b>地域の結びつきをより重視した図取り</b> となるように配慮されている。(p.99-100など) ○原則、紙面の左上にタイトル、左右上にページ番号、右端にインデックスが配置されるように、 <b>レイアウトの統一(構造化)</b> がなされていて、生徒が探しやすいように配慮されている。 ○開いているページの地域が、世界・日本の中でどのあたりに位置するかが一目でわかるように、原則として地図ページには <b>位置図が掲載</b> されている。

# 『中学校社会科地図』の特色一覧

## ② 検討の観点から見た内容の特色

内容の扱い／学習活動	課題解決的な学習を行うための構成・工夫がなされているか。	<p>○問い「地図活用」（計94か所、全131問）が設置されている。地図の読み取りなどの地理的技能が身に付くだけでなく、「社会的な見方・考え方」を働かせた学習に活用できる。（p.6,9など）</p> <p>○巻頭と巻末の資料図では、紙面のタイトルわきに「学習課題」を設け、そのページで扱うテーマを追究する際の着眼点を示している。（p.13-18,p.145-164）</p>
	「主体的・対話的で深い学び」を実現するための構成・工夫がなされているか。	<p>○世界の各州には、自然環境や生活・文化、産業などのイラストを配した鳥瞰図（全6か所）があり、地域的特色を視覚的に捉えられる工夫がなされている。（p.25-26など）</p> <p>○「二次元コード」（計38か所、全111コンテンツ）が設置されている。NHK for School（動画）、世界・州別衛星画像、日本の基礎主題図など、生徒が主体的に学習し、資料活用能力を高められるコンテンツが多数収録されている。（p.5-6など）</p> <p>○問い「地図活用」（計94か所、全131問）が設置されている。地図の読み取りなどの地理的技能が身に付くだけでなく、「社会的な見方・考え方」を働かせた学習に活用できる。（p.6,9など）</p> <p>○巻頭と巻末の資料図では、紙面のタイトルわきに「学習課題」を設け、そのページで扱うテーマを追究する際の着眼点を示している。（p.13-18,145-164）</p>
	基礎的・基本的な「知識および技能」を確実に習得するための工夫がなされているか。	<p>○地図帳の構成や、方位、地図記号、縮尺、さくいんの使い方など、地図帳の基本的な見方・使い方がわかりやすく解説された「地図帳の使い方」が巻頭で5ページにわたって設けられている。（p.4-8）</p> <p>○実際の地形図を取り上げ、作業を通して地形図の見方が身に付けられるコーナーが設けられている。（p.8）</p> <p>○要所に配された問い「地図活用」（計94か所、全131問）から、地図の読み取りなどの地理的技能が身に付く。（p.6,9など）</p>
	深い学びを実現させるための「思考力・判断力・表現力等」を育成するような配慮がなされているか。	<p>○要所に配された問い「地図活用」（計94か所、全131問）は、「社会的な見方・考え方」の視点に着目して作成されている。こうした「見方・考え方」の視点を働かせることで、「思考力・判断力・表現力」の育成につながる工夫がなされている。（p.6,9など）</p> <p>○資料図は、比較を通して地域の特色が考察できるように、自然や人口などの主要素については縮尺が統一されている。（p.27-28,87①③④⑤など）</p> <p>○世界地図には、世界の国々と日本の大きさ比べや、緯度や経度による位置関係の比較ができるように、随所に同緯度・同経度・同縮尺の日本地図が掲載されている。</p> <p>○巻末の世界の統計資料は、州別、項目別に色分けがなされ、上位国の数値は赤字、下位国の数値は青字で示されているなど、数値的に各国の特色や差異を捉えやすいように配慮されている。（p.167-169）</p> <p>○巻末の日本の統計資料は、地方別、項目別に色分けがなされ、上位県の数値が赤字で示されているなど数値的に地域の特色や差異を捉えやすいように配慮されている。また、県別統計資料には地方別合計欄があり、地方どうしの比較が容易に説明できるように配慮されている。（p.171-172）</p>

# 『中学校社会科地図』の特色一覧

## ② 検討の観点から見た内容の特色

内容の扱い／学習活動	「思考力・判断力・表現力等」の育成につながる <b>社会的な見方や考え方を働かせるための配慮</b> がなされているか。	○要所に配された問い「 <b>地図活用</b> 」（計94か所，全131問）は、「 <b>社会的な見方・考え方</b> 」の視点に基づいて作成されている。（p.6,9など）
	生徒の <b>興味・関心</b> を喚起させ、「 <b>主体的に学習に取り組む態度</b> 」を育成できるような配慮がなされているか。	○世界の各州には、自然環境や生活・文化、産業などの <b>イラストを配した鳥瞰図（全6か所）</b> があり、地域的特色を視覚的に捉えられる工夫がなされている。（p.25-26など） ○「 <b>二次元コード</b> 」（計38か所，全111コンテンツ）が設置されている。NHK for School（動画）、世界・州別衛星画像、日本の基礎主題図など、 <b>生徒が主体的に学習し、資料活用能力を高められるコンテンツ</b> が多数収録されている。（p.5-6など） ○随所に <b>修学旅行や校外学習で活用できる資料が掲載</b> され、主体的に地図帳を活用できるように配慮されている。（p.103-104など）
	<b>小学校との接続や小・中一貫教育</b> への配慮がなされているか。	○小学校で身に付けた技能を発展させた「 <b>地図帳の使い方</b> 」が設置されている。（p.4-8） ○二次元コード内に、小学校で学習した方位、地図記号、距離などの基礎的な知識を確認することができるコンテンツ「 <b>小学校の復習をしよう</b> 」が収録されている。
	<b>他分野との接続や関連</b> への配慮がなされているか。	○地理的分野だけでなく、歴史的分野、公民的分野でも幅広く活用できるような資料が盛り込まれている。（詳細は本資料p.50「 <b>学習指導要領の項目に沿った編集上の特色</b> 」を参照）
	我が国の <b>伝統・文化、宗教に対する理解を深められる</b> ような配慮がなされているか。	○日本の一般図では、 <b>各地方の伝統文化に関する絵記号が多数掲載</b> され、伝統・文化の継承と発展について考えられるように配慮されている。 ○日本の伝統・文化の例として、「 <b>伝統的な町並みの保存</b> 」，「 <b>地域による方言の違い</b> 」，「 <b>各地方の特色のある祭り・行事</b> 」，「 <b>日本の伝統的な料理</b> 」など、 <b>伝統・文化に関する地図や写真が豊富に掲載</b> されている。（p.163-164）
	我が国の <b>領土・領域を正しく理解</b> できるような配慮がなされているか。	○東西南北端を含めた我が国の領土や、我が国の広大な排他的経済水域を捉えられる地図や、 <b>領土・領海・領空・接続水域などの概念が端的に理解できる模式図</b> が掲載されている。また、この図には正式国名が用いられている（例：日本国）。（p.187-188） ○ <b>我が国固有の領土</b> である北方領土・竹島・尖閣諸島が写真付きで解説されている。（p.78,80-82）

# 『中学校社会科地図』の特色一覧

## ② 検討の観点から見た内容の特色

	<p>補充的な学習や発展的な学習に対する工夫・配慮がなされているか。</p>	<p>○資料は、地域の特色が適切に理解できる題材が選定されている。そのため、教科書で取り扱われる内容をより深められる。(p.27-28,87-88など)</p> <p>○社会科の学習のみならず、<b>修学旅行や校外学習でも活用</b>できる資料や都市図が多数掲載されている。(詳細は本資料p.31-32を参照)</p>
	<p>生徒が家庭でも主体的に自学自習できるような配慮がなされているか。</p>	<p>○地図帳の構成や、方位、地図記号、縮尺、さくいんの使い方など、地図帳の基本的な見方・使い方が巻頭の「<b>地図帳の使い方</b>」で5ページにわたってわかりやすく解説されているため、自学自習の際の指針となる。(p.4-8)</p> <p>○家庭学習でも地図帳を主体的に活用できるように、「<b>二次元コード</b>」(計38か所、全111コンテンツ)が設置されている。(p.5-6など)</p> <p>○要所に配された<b>問い「地図活用」</b>(計94か所、全131問)は、地図帳を主体的に活用できるような内容となっている。(p.6,9など)</p> <p>○A4サイズ換算で1ページあたりの重さが<b>現行版より約15%も軽い専用用紙</b>を採用し、かつ堅牢な製本様式が用いられている。(詳細は本資料p.40を参照)</p>
<p>今日的な課</p>	<p>環境教育に関して、どのような配慮がなされているか。</p>	<p>○環境問題や<b>持続可能な開発目標(SDGs)</b>の観点に基づいた資料が豊富に掲載されている。(p.13-14など)</p> <p>○世界と日本の各地域資料図には、「<b>環境</b>」マークが付いた資料図が多数掲載されている。</p> <p>○後世に残したい日本の貴重な自然環境の例として、国立公園、世界自然遺産、世界ジオパークを取り上げている。(p.145-146②③)</p>
	<p>防災に関して、どのような配慮がなされているか。</p>	<p>○日本の各地域資料図には、「<b>防災</b>」マークが付いた資料図が多数掲載されている。</p> <p>○防災対策に留まらず、<b>復旧・復興の視点</b>も取り上げている。(p.132②)</p> <p>○「日本の自然災害・防災」の特設ページが設けられ、日本で起こり得る<b>災害と、それらへの対策が理解</b>できるように工夫されている。また、<b>ハザードマップと地形図の比較</b>から、防災における地図の有用性を理解できるように工夫されている。(p.149-150)</p>
	<p>人権・平和教育の推進のために、どのような配慮がなされているのか。</p>	<p>○日本・世界の諸地域の多様な姿を通して、各地には<b>さまざまな立場や考え方があることを認識</b>し、多様な価値観や文化に対する理解と寛容な態度を育めるように配慮されている。</p> <p>○「各国語のあいさつの例」に掲載した生徒のキャラクターは、男女の比率がほぼ等しくなるように配慮されている。(p.17-18)</p> <p>○「さまざまな言語(公用語)」、「さまざまな宗教」、「開拓の歴史とアイヌ語地名」など<b>人権の学習に資する資料</b>が掲載されている。(p.17-18①②,137②など)</p> <p>○平和教育で活用できるように、長崎市の鳥瞰図と広島市の都市図が掲載されている。(p.88⑨, 89②)</p>

# 『中学校社会科地図』の特色一覧

## ② 検討の観点から見た内容の特色

<p>題 へ の 対 応</p>	<p><b>グローバル化</b>に関し て、どのような配慮 がなされているか。</p>	<p>○世界各地と日本の経済的な結びつきがわかる資料「<b>日本との結びつき</b>」(全11か所)が掲載されており、現在や将来の社会が直面する課題や持続可能な社会について考えられるように工夫されている。(p.28⑩,31②など)</p>
	<p><b>少子高齢化</b>に関し て、どのような配慮 がなされているか。</p>	<p>○少子高齢化の社会的背景や影響について考察できる資料図が掲載されている。(p.151③,p.152⑤⑦⑧⑨,171-172など)</p>
	<p><b>情報化</b>に関して、ど のような配慮がなさ れているか。</p>	<p>○情報通信技術の発展の現状を捉えられる資料が掲載されている。(p.159③など)</p>
	<p><b>「持続可能な開発目 標」(SDGs)</b>に関し て、どのような配慮 がなされているか。</p>	<p>○持続可能な社会を実現するために、世界でどのような取り組みが行われているのかを捉えられる資料が掲載されている。(p.13-14など) ○環境を中心に、<b>持続可能な開発目標(SDGs)の観点に基づいた資料が豊富に掲載</b>されている。(p.28⑩,35③など)</p>
<p>表 記 ・</p>	<p><b>統計,挿絵,写真, 図表</b>等は鮮明,正確 かつ適切であり,相 互の関連がはかられ るなど学習効果を高 めるための工夫がな されているか。</p>	<p>○生徒の興味・関心を高め,地域の姿をより具体的にイメージできるように,<b>鳥瞰図が多数掲載</b>されている。(p.25-26など) ○世界の地図表現は黄緑色(クサ色)と茶色で,高さごとに色分けした等高段彩表現を用い,土地の起伏感が捉えられるように工夫されている。(p.23-24など) ○日本の地図表現は,国土理解につながるように,<b>地域の生活や産業のようすがわかる土地利用表現と,地形がわかる等高段彩表現を併用した地図表現</b>になっている。(p.99-100など) ○世界・日本ともに地形が捉えやすいように,<b>等高段彩表現にレリーフ(陰影)表現を合わせた立体感ある地図表現</b>になっている。 ○資料図は,<b>比較を通して地域の特色が考察</b>できるように,自然や人口などの主要素については<b>縮尺が統一</b>されている。(p.27-28,127-128など) ○世界地図には,世界の国々と日本の大きさや,緯度・経度による位置関係の比較ができるように,随所に同緯度・同経度・同縮尺の日本地図が掲載されている。(p.73-74など)</p>

# 『中学校社会科地図』の特色一覧

## ② 検討の観点から見た内容の特色

<p>表 現</p>	<p>特別支援教育やインクルーシブ教育に対して適切な配慮がなされているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地図帳全体にわたって、可読性の高いユニバーサルデザイン(UD)フォントが使用されている。そのなかでも、とくに読みやすい丸ゴシック系が多用されている。</li> <li>○重要な国名や主要都市名など、地名には白色系の縁取りを付けて、読みやすくなっている。</li> <li>○色覚特性のある生徒でも地図やグラフが読み取りやすいように、カラーユニバーサルデザインに対応した色彩表現となっている。</li> <li>○「田」や「果樹園」などの土地利用表現の色の下に模様(地紋)が入っており、色の違いを判別しやすくしている。また、陸高の違いを読み取りやすいように、うす緑色で等高線が加えられている。</li> <li>○地図タイトルやページ番号、インデックスは位置を原則固定し、レイアウトの統一(構造化)がはかられている。</li> <li>○「地名を手話で表す」コーナーが設けられ、聴覚障がいのある生徒やインクルーシブ教育などに配慮されている。</li> <li>○読み取りやすくなるように、反射を抑えた紙が用いられている。</li> </ul>
<p>印 刷 ・ 装 丁 等</p>	<p>紙質や印刷の鮮明さなど、生徒の利便性に配慮がなされているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○印刷は鮮明で、図・写真ともに細かな文字まで読み取りやすくなっている。</li> <li>○地図を美しく読み取りやすくするため、通常の4色印刷に黄緑色(クサ色)のインキを加えた5色刷りで印刷されている。</li> <li>○地図・写真が美しく鮮明になるように、反射を抑えつつ、裏写りしない紙が使用されている。</li> <li>○生徒の身体への負担に配慮するために、A4サイズ換算で1ページあたりの重さが現行版より約15%も軽い専用紙が採用されている。(詳細は本資料p.40を参照)</li> </ul>
	<p>造本は3年間の使用に耐えられるように配慮がなされているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○表紙の材料は引っ張り、折りなどに強い用紙が使用されている。さらに、表面の摩耗・汚れを防ぐためにポリプロピレンシートが貼られており、長期間の使用に耐えられる。</li> <li>○製本は、ページの落丁を防ぐために、糸かがりの方法が用いられるとともに、背に「寒冷紗」を巻いて強化し、3年間の使用に耐える丈夫な製本仕様になっている。また、PUR製本により重量が軽く、本が大きく開くように工夫されている。</li> <li>○折り込みページの折り目部分がコーティングで補強され、折り込みページが切れ落ちることのないように配慮されている。</li> </ul>
	<p>用紙・インキ等は、環境への配慮がなされているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○古紙および環境にやさしいフレッシュパルプが用いられている。また、植物油インキが使用され、環境保全に配慮されている。</li> <li>○針金を使わないPUR製本により、資源を節約すると同時に、リサイクルしやすくなっている。</li> </ul>
<p>サ ポ ー ト 体 制</p>	<p>デジタル教科書・教材や教師用指導書などのサポート体制はどのようなになっているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習者用デジタル教科書・教材、指導者用デジタル教科書(教材)、教師用指導書、拡大教科書などが令和3年4月までに発刊される予定となっている。</li> </ul>